

歯科の新風、国会に颯爽と

平成7年
8月5日
号外

発行所
広島県歯科医師連盟
広島市中区富士見町11-9
TEL (082) 241-4197
編集兼発行人 青井隆男

だいにすれば永久歯、だいにしなむ永体止。

Keep 25 teeth until you're 55

5525運動
55歳で25本の自分の歯をもちましよう。

比例代表区

中原 爽 日歯会長

堂々三位で当選!

第十七回参院通常選挙は七月二十三日投票が行われ即日開票された。結果は有権者の半数以上が棄権し四四・五二%の投票率で国政選挙の中で過去最低となったこと、社会党が惨敗して過去最低の獲得議席となった二つの記録が象徴的であった。比例代表(改選率五十)は新進党十八、自民党十五、社会党九、共産党五、新党さきがけ二、二院クラブは一議席をそれぞれ獲得した。



当選して抱負を述べる中原日歯会長

自民党三位にランクされた中原爽日歯会長は、早々と当選を確実なものにして勝利の女神が微笑んだ。これも偏に日頃から連盟活動に携わっている県歯会員が全員一丸となって戦った勝利と言える。

振り返れば昨年の一月に木暮参議が自民党を突然離党し新進党に入党する騒ぎから始まり、三月の日歯連盟評議員会では二人いた立候補者が二人共辞退する。六月七日の第三回臨時理事会で橋本自民党政調会長(当時)から中原会長へ出馬要請があり、その後、選挙委員会、臨時理事会、評議員会等を経て七月二十六日の第六十五回臨時評議員会と八月四日の日歯臨時代議員会で中原会長が参院選比例代表単一候補に正式決定した。

その後、選挙対策推進本部が発足し短期決戦を合言葉に会計計画の実施、党友の獲得、後援会入会者の獲得と全会員が一致団結して県下で活動を繰り広げた。本年の七月五日の自民党候補者名簿発表では、現職重視の自民党方針にも拘らず新人では別格の三位に登載されたのは我々の努力と団結の汗の結晶であり歯科界の力が大いに評価されたものと言えよう。

今、国会議員となった中原会長には我々への約束である次期診療報酬の改定と

税制改革と厚生行政への対応の三点を実現して戴くよう期待したい。

参議院選挙を終えて

広島県歯科医師連盟会長 今田良男

やっとなんと言わなければならないか、我々にとつての参議院選挙が中原会長第三位当選という勝利の中に終結しました。この一年間、会員の皆様方にはいろいろと迷惑とご苦労をおかけしましたが、お蔭様で所期の目的を達成することができました。心から厚くお礼申し上げます。

今年、統一地方選挙と参議院選挙が重なって、文字通り『選挙の年』となりましたが、我々連盟にとつての最大の関心事は参議院

比例代表選挙であったことは論を俟ちません。紆余曲折を経ての中原会長出馬決定でありましたが、一度機関決定した以上はこれに従うのが民主主義の原則であり、全国六万会員打って一丸となり党員・党友集め、会計計画、そして最大の難関である後援会員集めに立ち上がったわけであり、その結果、見事に所期の目的を達成することができ、このことよって日歯連盟は自他共に許す確固な政治団体であることを内外に立証したわけであり

このような我々の努力を評価し、自民党は中原会長を比例代表候補者名簿の第三位に指名しました。新人で第三位ということは真に名譽ある地位であると、日

歯連盟はこれを評価しておりますが、一位指名を期して頑張った我々にとっては、いささか残念な結果でありました。しかし、政治の世界の複雑な事情を考えれば、我々も以て限すべしというべきでしょう。

中原選挙と共闘の形をとった広島選挙区の溝手議員も、二位に二万四千余票の差をつけて予想通りトップ当選という輝かしい成績を納められました。推薦した県歯連盟としても真にご同慶に堪えないところであります。今後とも、若手有力議員として国家のため、又郷土広島のために存分のご活躍を期待するものであります。

選挙戦を顧みて、今回の中原選挙は大変困難な闘いでありました。スタートが遅れエンジンのかかりが遅

参院選闘い終えて

広島県歯科医師会会長 松島 悌二



昨年七月以来重くのしかかっておりました、日本歯科医師会中原会長を担いで第17回参議院議員通常選挙は、梅雨明けと時期を同じくして終わりました。

中原会長が、自民党比例代表候補者名簿第三位という高ランクに位置されたため、七月六日の公示の前日、五日をもって早くも選挙戦は終了したかのようを感じた方もいらしたように感じています。しかしながら、ここまでに至る道程は極めて長く、生易しいものではなかったものであります。そもそも出足が遅れたため、参議院選挙対策推進本部役員各位に、大変ご迷惑をおかけいたしました。数次にわたる後援会会員の獲得運動に始まり、度重なる会合の実施開催、終盤に行われた後援会入会者の入会意志の確認調査等と続き、診療を休み、あるいは中断し、その合間を縫ってのご活動とご支援に限りない敬意と深甚なる謝意を表すものであります。本当に有難うございまして。厚く厚くお礼申し上げます。

お蔭様をもちまして、日歯連盟・中原爽中央後援会が全勢力を傾注した比例の

中原補候補は第三位のご当選、我が県歯科医師連盟推薦の溝手頭正氏も、過去最低の投票率の中において二万四千有余票の格差をつけ堂々のトップ当選を果たされました。このことは、偏に会員各位のご精進の賜であります。

中原新参議、溝手参議におかれましては、現井上参議・大島参議とガッチリとスクラムを組んで頂き、あらゆる機会を捉えられ、日頃から私共歯科医師が熱望し希求いたしておりました二十一世紀の長寿社会を踏まえた歯科保健医療関係の予算及び制度、施策に関する要望実現のために、格段のご尽力を賜りましたのであります。就中、歯科診療報酬の引き上げと歯科保健事業の推進につきましましては、最重要項目としてご努力をお願いいたしたく存じております。勿論、公約である積極的な公共投資で内需拡大、所得・土地・株式等の減税により経済に活力、国民生活を豊かにする規制緩和の推進、不良債権を処理し経済を活性化、明日を拓く科学技術創造立国、急激な円高への着実な対応等々については、その実現に全力投球を続けて頂きたいと希うものであります。

本当にご苦勞様でございますが、まだまだ続く永い道程であります。以前から申しておりますように、連盟と本会は一心同体、車の両輪の関係にあります。お互いに力を合わせて、輝かしい歯科界実現のために頑張る所存でございます。よろしくお願いいたします。

向暑のみぎり、十二分にご自愛賜りますよう祈念いたします。私のご挨拶とさせていただきます。どうも有難うございました。

参議院選挙は終わりましたが、これで万事終了というわけではございません。むしろこれからが闘いの始まりであります。我々、中原会長を先頭に、井上・大島の両議員を押し立てて歯科医師会内外の多くの困難な懸案解決のために闘わねばなりません。去る七月二十四日に中原会長祝勝の集いが日歯会館において催されましたが、席上中原会長はその挨拶の中で「中味のあつたことを会員から期待されているので、大島議員共々これから努力していきたい」という主旨の発言をされました。我々会員として中原会長の今後の活躍に大いに注目し、且つ期待するものであります。

ともあれ、有終の美を飾って我々の参議院選挙(中原選挙)は終わりました。ここに改めて会員の皆様方のご協力に感謝申し上げますと共に、今後とも連盟に対する一層のご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。参議院選挙の総括とさせていただきます。

